

《令和6年度 富士宮市立稲子小学校グランドデザイン》

【校訓】
智真 仁善 勇美

稲子小児童のよいところ
 ・素直で学年に関係なく仲が良い
 ・欠席や遅刻がほとんどない
 稲子小児童の伸ばしたいところ
 ・粘り強く取り組む力をつけたい
 ・自分の思いを臆せず話せるようにしたい

こどもたちのウェルビーイング
 学校・地域・社会のウェルビーイング
 教職員のウェルビーイング

芝川中学校区共通テーマ
 芝川を愛し、グローバルな視点で
 活躍できる児童・生徒
 〈9年間で身に付けたい資質・能力〉

- ・自ら学ぼうとする力
- ・他者と協働する力
- ・挑戦し続ける力

【学校教育目標】
『ゆめをもって生き生きと学ぶ子』

【学校経営目標】
『小規模校の良さを生かし、「自ら学ぶ楽しさ」を実感するこどもが育つ学校づくり』

Plan **【重点目標】と夢を叶える力**

知識・技能	思考力・判断力・表現力	学びに向かう力・人間性
課題解決に必要なスキルを確実に習得する	学び合いを楽しみながらわかりやすく伝える	課題解決に向け、他と関わりながら粘り強く挑戦する
読む力 聞く力 計算する力 書く力 話す力	考える力 調べる力	質問する力 伝える力 協働する力 振り返る力 やり遂げる力

夢を叶える力

Action

- 評価後の改善案について検討・実施
- 【短期】打合せ、職員会議、職員研修
- 【中期】学校評価、学校評議員会 P T A 理事会
- 【長期】教育課程編成 SDG s への取組

Check

【学校評価重点項目・目標数値】

- ・学校に楽しく通っている。 100%
- ・みんなで学び合う授業は楽しい。 100%
- ・めあてにむかって頑張っている。 100%
- ・学びを振り返り次に生かしている。100%
- ・気持ちのよいあいさつをしている。100%

【評価場面（こども）】

- ・授業、単元における振り返り
- ・単元テスト、定着度調査
- ・行事の振り返り
- ・キャリア・パスポート

【評価場面（教職員・学校関係者）】

- ・日常的な学習評価、生活評価
- ・学校評価(年2回)
- ・学校評議員会、P T A 理事会
- ・行事毎の成果と課題の分析

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実

Do

「い」いつまでもつかえるわざをみにつけよう

- 基礎・基本の知識・技能の習得
 - ・1人1台端末の効果的な活用、読書活動の充実
 - ・漢字、計算の小テストによる確認
- 学習スキルの定着
 - ・授業に生きる家庭学習の習慣化
- 成長にプラスとなる生活習慣の定着
 - ・体力向上につながる環境づくり、食育の充実
 - ・ゆうゆうタイム(健康)を通じた情報伝達

「な」なかまとまなぼう つたえあおう

- こども同士で学び合う授業の充実
 - ・リーダー学習の充実、協働的な学びの場づくり
- わかりやすく伝える表現力の育成
 - ・他学年・他校との交流、地域・外部人材の活用
- 自分で考え、質問する資質・能力の育成
 - ・自分の思いを表出する活動の意図の設定

「こ」これまでのまなびをふりがえろう つなげよう

- 見通しをもち、振り返り、調整し、粘り強く取り組む学びのサイクルの定着
 - ・振り返りカード、キャリア・パスポートの活用
- 良好な人間関係を育む他との関わり方の育成
 - ・縦割り活動の計画的な実施 ・4校あいさつ運動
- 互いを尊重する心の育成
 - ・道徳授業内における積極的な関わり合い
 - ・道徳内容項目のバランスのとれた指導

家庭・地域・外部機関との連携・協働・支援 [社会に開かれた教育課程]

【家庭・地域との連携】

- 保護者を含めた地域人材の活用
 - ・富士山学習を中核とした授業等への関わり
- 情報の送受信
 - ・地域・保護者との行事の合同実行委員会
 - ・学校だより等、学校HP、報道提供
- 地域行事への参加
 - ・稲子祭り、アユの放流、グラウンドゴルフ交流等
- 感染症予防・防災・安全教育
 - ・感染症対応、「危機対応マニュアル」の周知
 - ・命を守る教育の推進、地域防災訓練への参加

【小中連携の推進】

- 教職員間の連携
 - ・芝川中学校区4校連絡会の実施(5部会)
 - ・9年間で身に付けたい資質・能力及び具体的な手立ての共有
 - ・研究授業の参観を通じた授業改善の推進
- 児童・生徒間の交流
 - ・芝川中学校の授業参観・体験
 - ・芝富小学校、内房小学校との合同行事の実施や授業を通じた日常的な交流活動
 - ・北部人穴小学校との交流活動 ※小規模校連携事業